

# V-Low帯域のFM放送用周波数拡充に関する 需要調査結果

---

令和3年8月24日

事務局

## 1. 調査目的

V-Low帯域(95MHz～108MHz)の利活用方策に関する基本方針に係る取りまとめを踏まえ、V-Low帯域の一部をFM放送用周波数として利用するにあたって、必要帯域など周波数割当ての要件の検討の基礎資料の一つとして、放送事業者による中継局の整備計画等の周波数需要調査を実施。

## 2. 調査概要

### (1) 調査対象

- 中波放送及び超短波放送(コミュニティ放送及び臨時目的の放送を除く)を行う全基幹放送事業者

98事業者:日本放送協会及び97民間放送事業者

(民間放送事業者の内訳:AM放送事業者:47者、FM放送事業者:50者)

### (2) 調査内容

- 整備目的別(難聴対策、災害対策、AM放送のFM転換等)の中継局整備見込み
- 想定する放送区域(行政区域等)、中継局の規模(送信諸元)等
- その他中継局整備にあたっての要望事項等

### (3) 調査期間

令和3年6月17日～7月12日

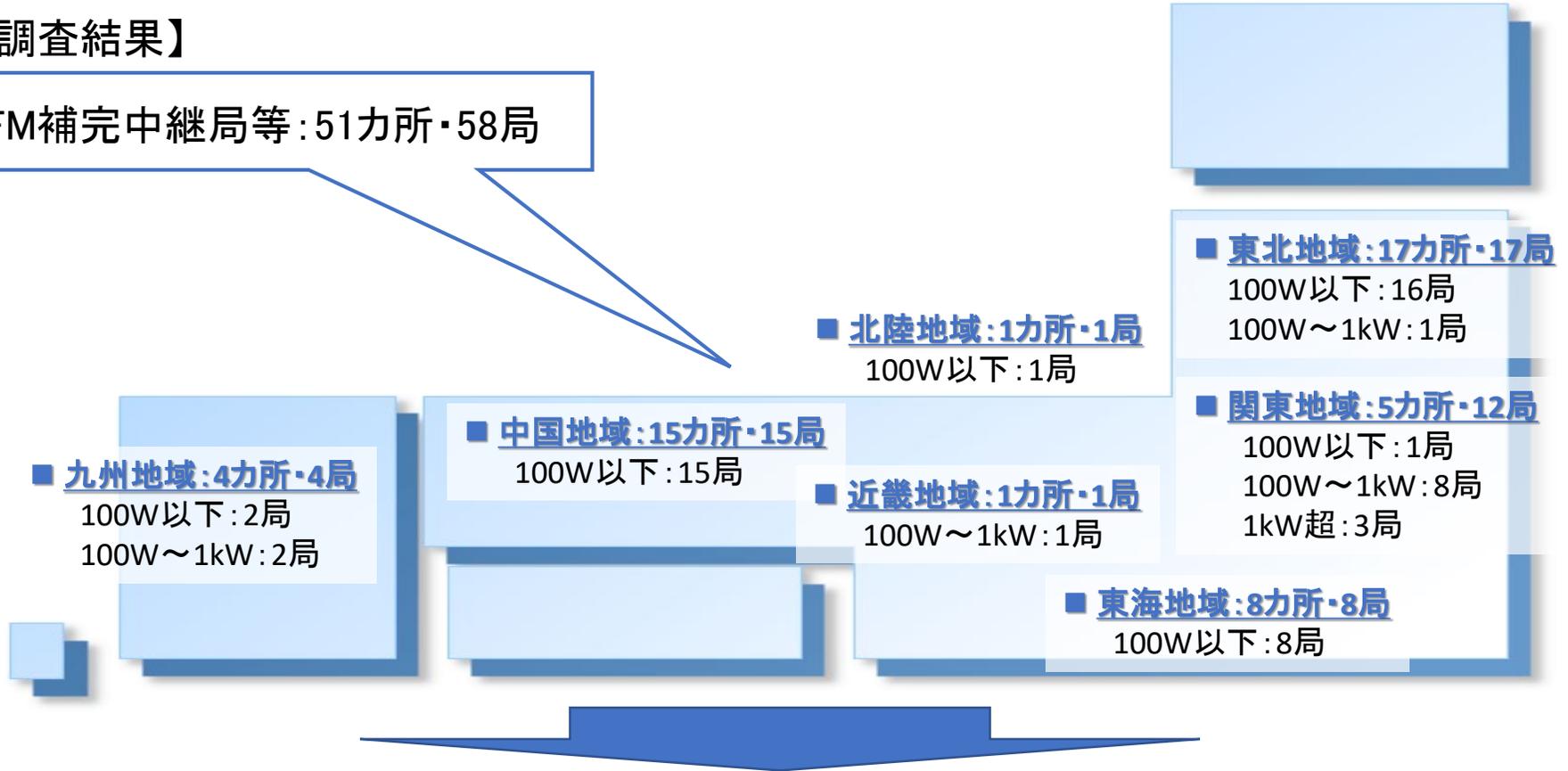
### (4) 回答状況

98事業者／98事業者(100%)

◆ FM補完中継局の整備を中心にV-Low帯域(95MHz~108MHz)の利用が想定されており、FM放送用周波数拡充への一定の需要が見込まれる。

## 【需要調査結果】

● FM補完中継局等:51カ所・58局



既存の放送局諸元をモデルに簡易な机上検討を行ったところ、帯域幅が4MHz程度となる見込み。

※ 一部事業者においてはFM同期放送を積極的に検討の意向あり